

9. 教員養成シンポジウム&FD

コロナ禍の中で、子どもたちを教育し、指導していく教師の資質能力の向上が重要な教育課題となっている。いうまでもなく教師の資質能力の向上には、教科指導力だけでなく、児童・生徒理解力が欠かせない。

このような中で文部科学省は、従来から、教科指導力に関わる『学習指導要領』と同格以上に重視されてきた『生徒指導提要』を12年ぶりに全面改訂※した。今回の改訂では、いじめ問題、GIGAスクール構想、発達障がい、性的マイノリティ等、子どもたちを取り巻く大きな社会変容に柔軟に対応する内容となっている。

今年度のシンポジウムでは、この改訂作業で中心的役割を果たした座長の東京理科大学教授・八並光俊氏（中教審委員）をお迎えして、令和の教師に必要な資質能力について講演いただいた。

開催日時：令和5年2月14日（火） 13:00～14:30

実施方法：オンライン（Zoom）

参加者数：170人

プログラム（進行：昌子副センター長）：

13:00～13:05 開会挨拶 はじめに 太田 寛行 学長

13:05～13:10 趣旨説明 小川哲哉

13:10～14:10 講演「令和の教師に必要な資質能力」

八並 光俊氏

（東京理科大学教授 日本生徒指導学会会長・中央教育審議会委員
及びいじめ防止対策協議会委員）

14:10～14:25 質疑応答

14:25～14:30 まとめ・閉会挨拶 野崎英明

茨城大学全学教職センター・教育学部共催シンポジウム
令和の教師に必要な資質能力
- 『生徒指導提要』の改訂と子ども理解 -

コロナ禍の中で、子どもたちを教育し、指導していく教師の資質能力の向上が重要な教育課題となっている。いうまでもなく教師の資質能力の向上には、教科指導力だけでなく、児童・生徒理解力が欠かせない。
このような中で文部科学省は、従来から、教科指導力に関わる『学習指導要領』と同格以上に重視されてきた『生徒指導提要』を12年ぶりに全面改訂した。今回の改訂では、いじめ問題、GIGAスクール構想、発達障がい、性的マイノリティ等、子どもたちを取り巻く大きな社会変容に柔軟に対応する内容となっている。
本シンポジウムでは、この改訂作業で中心的役割を果たした座長の八並光俊氏（中教審委員）をお迎えして、令和の教師に必要な資質能力を多様な側面から考察していきたい。

開催日時 令和5年2月14日（火）13:00～14:30

会場 オンライン（Zoom）

対象 全教職員・教職希望学生・教育行政関係者等

参加方法 下記のQRコード等からご参加ください。（事前申込不要）
ミーティングID: 919 6422 2375
パスワード: 984961

プログラム
13:00～13:05 開会挨拶 はじめに
太田寛行（茨城大学長）
13:05～13:10 趣旨説明 小川哲哉（茨城大学全学教職センター長）
13:10～14:10 講演「令和の教師に必要な資質能力」
八並 光俊氏（東京理科大学教授）
（日本生徒指導学会会長・中央教育審議会委員及び
いじめ防止対策協議会委員）
14:10～14:25 質疑応答
14:25～14:30 まとめ 閉会挨拶
野崎英明（茨城大学教育学部長）

※生徒指導提要（改訂版）
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1404008_00001.htm

問合せ先：学務部教育支援課
E-mail: center-te@ml.ibraki.ac.jp
TEL: 029-228-8816